

患者図書室“いきいきの森”だより



「端午の節句」の「端午」は 5 月最初の午（うま）の日を指し、午（ご）の字の読みが五に通じることから、5 月 5 日が端午の節句として定着していきました。江戸時代に勢力が武家に移ると、「尚武（しょうぶ）の節句」として盛んに祝われるようになり、家の跡継ぎとなる男の子の成長を祈る重要な行事となりました。鯉のぼりや兜だけでなく、菖蒲も端午の節句には欠かせません。菖蒲は古くから邪気を払うと信じられていました。ハーブのように菖蒲の強い香りを活用した菖蒲湯や菖蒲酒は、季節の変わり目を乗り切る昔からの知恵といえます。

4 月の貸出テーマランキング

1 位 伝染/感染症

『病気がみえる：免疫・膠原病・感染症』

『こうして防ぐ院内感染：患者の立場から』他

2 位 胃腸

『「大腸がん」と言われたら…』

『腸の病気は連鎖する』他

3 位 呼吸器

『ぜんそくの最新治療が

わかる本』他



図書の紹介

今月も新しい本が入りました！今まで取り扱っていなかったり、冊数が少なかったりしたジャンルの本ばかりです。ぜひ一度ご覧下さい。

『図解最先端テーピング術』 岩崎由純/著

『いのちを見つめる：がん患者の心理』 小久保正昭/著

『膠原病：免疫が強いのか？弱いのか？自分の病気を知るために』

藤井隆夫/著

『大人も子どもももう悩まない！じんましん』 石黒直子/著

『スーパー図解尿路結石症：再発させない治療と生活』 坂本善郎/監修

